

## ウラジロチチコグサ (裏白父子草)

名前の意味：葉の裏が白いチチコグサの意味。チチコグサはハハコグサによく似た在来植物（もともと日本にある植物）で、母子草に対して、父子草と名付けられた。

分類：双子葉類、キク科、ハハコグサ属  
(キク科の栽培植物：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地、庭

分布：本州、四国、九州

原産地：北アメリカ

特徴：地面を丸く覆う楕円形の葉、葉の裏の白い毛、濃い赤紫色の小さな花

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数：5裂、合弁（花びらがつながったまま落ちる）

花の時期：4—5月

見分け方：ほかのハハコグサ、チチコグサの仲間とは、花が咲いている時期に地面にロゼット（地面を葉が丸く覆う）があること、葉の表に毛がなく、裏は毛が多くて白いことで区別できる。

見つけやすさ ★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)